

年 組 名前：

風林火山

最近、庭の一角で家庭菜園を始めた。まずは土壌作りからと、硬くなった土に鍬を入れる。あいにくの強風下での作業ながら、肌に当たる風は心地よく、優しかった▼「春には『気温の春』『光の春』『音の春』がある」。天気キャスターが番組で紹介していた。日ごと寒さはゆるみ、陽光の差す時間は長くなる。ウグイスのさえずりも春の足音を感じさせる▼わが家の周りでは、まだ春の「使者」の声は聞こえてこない。県内の状況はどうだろうか。甲府地方気象台のホームページを開いてみた▼気象庁は、生き物を通じて季節の移ろいを把握する「生物季節観測」を続けている。だがウグイスの初鳴きを観測した日は載っていない。観測対象を削減し、動物を外したからだ。都市化の進行で確認が難しくなっているためだという▼四季の変化に富む日本では生き物の営みを通して移り変わりをとらえてきた。日本人の感性に訴えるものだけに、観測対象の削減には反対が相次いだ。こうした声を受けてか、気象庁などは新たな調査の方法を試行している。一般の人が身の回りで把握した鳥の初鳴きなどを報告する市民参加型で観測できないか探っている▼私たちも身近なところで季節の変化を知ることができる。そういえば農作業中、鼻がむずがゆくなったのを思い出した。後で分かったことだが、この日は花粉の飛散開始日だった。こちらの春の「使者」は勘弁なのだ。(中)

(2022年3月3日付 山梨日日新聞1面)

問1

天気キャスターが紹介した「気温の春」「光の春」「音の春」とは何ですか。文中から抜き書きしてください。

- 「気温の春」 →
- 「光の春」 →
- 「音の春」 →

問2

気象庁は、生き物を通じて季節の移ろいを把握する「生物季節観測」の対象から、なぜ動物を外したのですか。

.....

問3

あなたはどんな時に春の訪れを感じますか。具体的にいくつか挙げてください。

.....

.....

.....